住宅用火災警報器の維持・管理について

住宅用火災警報器の維持管理は大丈夫ですか？

　せっかく取り付けた住宅用火災警報器も、いざというときに正常に機能しなければ意味がありません。日ごろの維持管理が大切です。
　火災が発生した場合、きちんと住宅用火災警報器（煙感知式）が作動できるよう日頃から点検とお手入れ（掃除）をしておきましょう。

■お手入れはしていますか？

・警報器はホコリなどが付くと感知しづらくなります。
１年に１回程度布等で乾拭きをしてください。
・次のことに注意して下さい。故障の原因になります。
　① 有機溶剤（ベンジン・シンナーなど）を使用しない。
　② 水洗いはしない。
　③ 煙流入口をふさいだり、傷つけない。

■作動テストをしましょう！

　・警報器のボタンを押すと、テスト音が鳴ります。音が鳴らない時は次のことを確認しましょう。
　　①　電池がきちんとセットされていますか？
　　②　電池切れではありませんか？
それでも鳴らない場合は故障が考えられます。取扱説明書をご確認ください。

■電池交換時期を確認しましょう！

・電池切れのときは音声でお知らせするか、ピッピッピッと音が鳴ります。
・電池の寿命は機種により異なりますので、本体裏側の表示で確認ください。

※機種により点検方法は異なります。詳しくは取扱説明書等で確認してください。

問い合わせ
　消防本部　予防課　予防担当（消防本部２Ｆ）
　電話：０４６－２６０－５７７８